

編集後記

お忙しい中を突然の執筆依頼にも関わらず快く引き受けてくださり、ご寄稿いただきました教職員ならびに学生の皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。編集長の岡本先生のスピーディーかつ的確な指揮のもと発行されました本号が、皆様のお役に立てれば幸甚です。

歯科放射線科 坂井 幸子

この度、初めて歯学部ニュースの編集に携わる機会を頂きました。至らないところも多かったかと思いますが、快く原稿依頼を引き受けて頂いた教職員および学生の皆様には、本当に感謝しております。編集業務を通じて、学生の活動やこれまでお話したことのなった先生方のご活躍など、歯学部内の多岐にわたる活動を実感しました。歯学部ニュースがこれからも、歯学部の更なる発展と活躍を報告する場として役立って欲しいと願います。最後になりますが、編集委員の先生方と原稿を執筆いただいた皆様に深謝いたします。

高度口腔機能教育研究センター 川崎 勝盛

編集後記を書いてくださいと依頼されたときに、週間少年ジャンプの巻末作者コメントのような軽いものを書けばよいのかなと思っておりましたが、どうやら違っていたようで、御多忙の中本誌に寄稿していただいた先生方、総括をしていただいた編集長の岡本先生にはこの場を借りて深謝申し上げます。

私ごとにはなりますが2019年3月をもって退職することになりました。4年間の在籍中は、たくさん先生方に本当にお世話になりました。ありがとうございます。今後の皆様の一層のご活躍と新潟大学歯学部のご発展をお祈り申し上げます。

包括歯科補綴学分野 藤原 茂弘

はじめに、年末年始のお忙しい時期に、寄稿して頂いた皆さんに心より感謝申し上げます。特に、卒業生の皆さんには国家試験間近にも関わらず、快く原稿依頼をお引き受け頂き、大変感謝致しております。原稿を読みながら、皆さんが歯学部の学生生活の中で様々な良い経験をされ、良き仲間や恩師に出逢われ、そして大きく成長されたことがとても良く伝わって参りました。微力ながら今号の歯学部ニュースの編集に携わらせて頂きまして、誠にありがとうございました。

歯科薬理学分野 柿原 嘉人

経験がない上に、大役でありますので、編集作業が、うまく運ぶのか？不安はありました。ところが、いざ開始すると編集委員の先生方の作業の円滑さには脱帽する他ありませんでした。一応、編集取りまとめ役を担当させていただいたものの、私になすべき仕事あまり残されていないことに気づくまで、時間はかかりませんでした。あらためて本号の編集チームの皆様のご尽力には心より感謝申し上げます。そして何より主役は皆様です。私共は編集作業に携わりながら、新潟大学歯学部が持つ、多様なエネルギーを実感し、大いに刺激を頂戴しました。ご多忙の中、ご寄稿くださった方々、そして本誌を手にとってくださいる皆様に心より感謝申し上げます。

口腔生理学分野 岡本 圭一郎

歯学部ニュース

平成30年度第2号（通算134号）

発行日 平成31年4月1日
発行者 新潟大学歯学部広報委員会
編集責任者 魚島 勝美、岡本圭一郎
編集委員 坂井 幸子、川崎 勝盛
藤原 茂弘、柿原 嘉人
印刷所 (株)ウイザップ